

項目	内容
名称	アガーベ、マゲイ [英]Agave、Maguey [学名]Agave americana、Agave tequilana Weber など
概要	アガーベは、中央アメリカ原産のキジカクシ科 (リュウゼツラン科) の多年生植物で、高さ1.5～2 m程度に生長する。樹液、果肉を発酵させたアルコール飲料 (プルケ、ヴィノ・メスカル) が作られるほか、樹液を煮詰めたものはアガベシロップ、マゲイシロップの名で低GI甘味料として用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アガーベ (テキラリュウゼツ) 球茎：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・サポニン類 (PMID:12132678) (PMID:10865469) (PMID:15787245)、フラボノイド類、アルカロイド類などを含む (33)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・葉に含まれるサポニン類をNMRにて同定した報告がある (PMID: 12132678) (PMID: 15787245) (PMID:10865469)。 ・アガーベ中のフルクタンをHPAEC-PAD法にて分析した報告がある (PMID:19348427)。
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	RCT ・健康な成人29名 (平均27±4.1歳、アメリカ) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化比較試験において、アガーベ由来イヌリンを5.0 g/日または7.5 g/日、21日間摂取させたところ、糞便中の優勢菌占有率において、いずれの摂取量でBifidobacteriumの増加、Desulfovibrioの減少、5.0 g摂取でLachnobacteriumの減少、7.5 g摂取でRuminococcusが認められたが、糞便のpH、代謝最終産物量、短鎖脂肪酸含有率に影響は認められなかった (PMID:26203099)。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	RCT ・急性の咳症状を訴える子ども79名 (試験群39名、平均23±15月齢、アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、就寝前にアガーベネクターを月齢に応じて3~5 mL、単回摂取させたところ、親の評価による咳の頻度、咳、鼻詰まり、鼻水の程度、子と親の睡眠に影響は認められなかった (PMID:25347696)。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	RCT ・肥満者14名 (20~40歳、メキシコ) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、糖負荷とともにアガーベ由来イヌリン24 gを単回摂取させ、4時間後に規定食を摂取させたところ、イヌリン摂取から食後120分後までの血中グレリン濃度の変動に影響は認められなかった (PMID:28005446)。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参 考 情 評 価 報	試験管内・ 動物他での	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
- (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シエヴァリエ
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(PMID: 12132678\) Z Naturforsch C. 2002 May-Jun;57\(5-6\):423-8.](#)
[\(PMID: 15787245\) Z Naturforsch C. 2005 Jan-Feb;60\(1-2\):57-62.](#)
[\(PMID:15280906\) Eur J Clin Nutr. 2004 Dec;58\(12\):1626-34.](#)
[\(PMID:7493474\) Contact Dermatitis. 1995 Jul;33\(1\):60-1.](#)
[\(PMID:14738723\) Am J Contact Dermat. 2003 Dec;14\(4\):213-4.](#)
[\(PMID:26203099\) J Nutr. 2015 Sep;145\(9\):2025-32.](#)
- (101) 学名でひく食薬区分リスト 薬事日報社 佐竹元吉 監修
[\(PMID:19348427\) J Agric Food Chem. 2009 May 27;57\(10\):3995-4003.](#)
[\(PMID:2640501\) P R Health Sci J 1989 8\(3\) 295-9.](#)
[\(PMID:21196071\) Allergol Immunopathol \(Madr\). 2011 May-Jun;39\(3\):184-5.](#)
[\(PMID:4050757\) Am J Gastroenterol. 1985 Nov;80\(11\):838-40.](#)
[\(PMID:25347696\) JAMA Pediatr. 2014 Dec;168\(12\):1107-13.](#)
[\(PMID:24664349\) Food Funct. 2014 Jun;5\(6\):1142-9.](#)
[\(PMID:10865469\) Planta Med. 2000 May;66\(4\):393-6.](#)
[\(PMID:11527512\) Eur J Clin Nutr. 2004 Dec;58\(12\):1626-34.](#)
[\(PMID:18588565\) Allergy. 2008 Jul;63\(7\):943-5.](#)
[\(PMID:28005446\) J Med Food. 2017 Feb;20\(2\):197-199.](#)
- (30) .「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)